

特集1 みんなでつくるふおれすと鉦山
～利用者の声を運営に・利用者会議～

特集2
秋のウォーキング健康編
～カマンベツの沢・三段の滝方面～

ふおれすと鉦山の事業
鉦山・大・同窓会、森の子育てフォーラム、スペシャルウィーク

リレーコラム カマンベツに呼ばれて
山田 清滋

スタッフルーム
MJ days 花ある紀 / スタッフコラム / ふおれほらこら / カウンタ
ーのうらがわ

KOUZAN EVENTS / KOUZAN INFORMATION



photo: 松原 條一

28 oct. 2009

鉦山録
こうざんろく

登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉦山」ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織「モモンガくらぶ」
〒059-0021 登別市鉦山町8-3 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉦山
TEL/ 0143-85-2569 FAX/ 0143-81-5808
E-mail: kouzan@npo-momonga.org URL: <http://npo-momonga.org/>

特集1

みんなでつくるふおれすと鉾山

～利用者の声を運営に・利用者会議～

みんなでつくるふおれすと鉾山一。私たちモモンガくらぶが掲げるテーマです。

利用者会議の開催も、これを実現するための欠かせない要素のひとつ。

利用者会議は、その名の通り、よりよいふおれすと鉾山になっていくよう利用者みなさんのからご意見をいただく、大切な機会です。モモンガくらぶが指定管理者になった2007年度から、子育て世代を中心とした『子育て編』、子どもから大人までの『一般編』、市内・市外問わず、ふおれすと鉾山を利用する学校団体対象の『学校編』と3部会に分けて実施しています。

どんなことが話され、どんなことが実現してきたのか、今までの利用者会議に迫ってみましょう！

森のコソダテ茶話会 ～子育て編

子育て編では、1日喫茶ルームと遊び場を用意して、ざつぱらんに日頃の「いろいろ」についてみなさんの想いや考えを教えていただく機会としています。

ふおれすと鉾山を使い慣れてきた利用者の方とは「どんなことがしたい」「どうやったらできるだろうか」と日常から意見交換をさせていただいています。利用者会議では、この地域の子育て環境の課題のようなものに対して「ふおれすと鉾山をもっとうまく利用できたらいいな」という声が聞こえてきます。

「体を使って十分に遊ばせられる遊び場があるといい」「冬場は特に集まれる場所がない」「何かを体験したい時に入口になるような活動があるといい」…お母さんたちが日常苦労している点も少し見えてきました。

子育て支援の取組みは、モモンガくらぶ主催「森のちよこっと子育てひろば（週1回開催、そのうち月1は回出張して地域の遊べる場所を発見しようと試みています）」、市民展示室の改装によりできた「木のおもちやひ

ろば」、みなさんの声を実現しようと開催した「木と森のあそび場2009」など。自分たちのできることに優先順位を決めながら、鉾山の自然やスタッフのサポートが子育てにどれほど役立ててもらえるだろうか、日夜手探りの中で取り組み中です。

コーザンドタバタ井戸 端会議 ～一般編

井戸端会議と聞くと、みなさんどんなイメージを持たれますか。そのイメージ通り、お茶を飲みながら、ふおれすと鉾山がこんな場所になったらいいなあ…、ここでこんなことがしたいなあ…など夢も含めた四方山話をする場でもあります。

お集まりいただくみなさんの中には、はじめてお越しいただく方も、リピーターさんも、小学生も中学生も、地元の方も、札幌からお越しいただく方も、ふおれすと鉾山を利用してくださる様々な方々がいらっしゃいます。

「貴重品を入れるロッカーがほしい→設置」「お風呂に仕切りを入れて、家族対応もできるように→設置」「中学生を対象としたプログラムをもっとたくさんやってほしい→中学生向けキャンプの実施」などなど…。ハードか

らソフトまでいただいたご意見を、次年度の事業計画や施設管理・運営へ役立たせていただいています。

ふおれすと鉾山利用者 会議 ～学校編

ふおれすと鉾山を利用している、または利用したいと思っている市内・市外の学校の教員のみなさんにお集まりいただいて、実施しています。ふおれすと鉾山を利用してのご意見・ご要望、来年こう使いたいんだけどどう進めていったらいいのかなど率直なご意見をいただき、ふおれすと鉾山のオータメイドプログラムの流れを説明し、意見交換の場となっています。

今年は、先生方から、「実際にプログラムを体験したり、安全面での指導について学びたい」という声をいただき、「先生のための実践自然体験講座」を5月と8月の2回実施しました。

学校教育の現場で活躍する先生方とふおれすと鉾山がタイアップし、子ども達により学習効果の高い自然体験活動をしてもらえるよう、つなげていきたいと考えています。

2009年度の利用者会議の開催日は…

- 11月 5日（木） 森のコソダテ茶話会
- 11月29日（日） コーザン井戸端タバタ会議
- 1月 7日（木） ふおれすと鉾山利用者会議～学校編

…みなさんも利用者会議に参加してみませんか？

特集2【秋のウォーキング健康編】～カマンベツの沢・三段の滝方面～

鉾山町の山々で紅葉が始まっています。涼しくなってきた、歩くのには気持ちのいいこの季節。紅葉を味わい、秋の風と川の音を聞きながら、森を歩いて健康になりましょう！！



【ロングコース】

三段の滝コース

距離：約4km

時間：行き 徒歩 1時間30分

帰り 徒歩 1時間(※成人目安)

★ お楽しみスポット

みどころいっぱい。いろいろなお楽しみスポットも探してみてください。

🔭 ビューポイント

対岸の山の紅葉がバッチリ
(※カーブで見通しが開ける場所がある)

🚫 注意を要するポイント

整備がされていない箇所もありますので、十分ご注意ください。

今年の冬もやってくる!

晩秋から冬にかけてのイベント



本格的に雪が降る少し前の季節。新しい企画からフォーラム、冬の定番プログラムまで、様々なプログラムを準備しています。

鉦山に縁のある方、集まれ!

鉦山・大・同窓会 11月22日(日)

ふおれすと鉦山がある鉦山町には、かつて幌別鉦山があり、たくさんの方々が暮らしていました。

幌別鉦山に縁(ゆかり)のあるみなさんが集まれる場・同窓会を行いたと思います!おうちに大切にしまっておられる懐かしの写真を1枚お持ちください。もちろん、思い出話も一緒に。もちろん、歴史に興味のある方もご参加ください。いにしへの鉦山プチツアーも計画中。おいしいお茶を飲みながら、昔の思い出に浸る1日にしませんか。



森の中に子育てのヒントが!

森の子育てフォーラム 12月上旬

今年で4年目の開催となる「森の子育てフォーラム」。今回は地域子育てサポートスタッフ指導者養成講座の3回目としての実施となります。講師をお迎えして、自然から学ぶ子育てについて考えます。また、ダッチオープンを使った昼食、森の中で子どもと一緒に遊んだり、地域の子育てサークルの発表を聞く分科会も予定しています。詳細はモモンガくらぶHPで随時お知らせしていきます。



冬休みのお楽しみイベント!

コーザン・スペシャルウィーク

1月9日(土)~11日(月)

2010年のはじまりを告げる「コーザン・スペシャルウィーク」! そりすべり、歩くスキー、手作りつるつるリンクでのながぐつホッケーなど冬遊びはもちろん、クラフトや石窯を使った料理などじっくり‘ものづくり’を楽しむ時間も。雪が少なくても、この時期だからこそ遊べる楽しみもあります。冬休みもおもいっきり、遊ぼう!!



～レンズ越しにみるふおれすと鉱山～
『森のぬくもり』



タイトル：命をつなぐ種たち

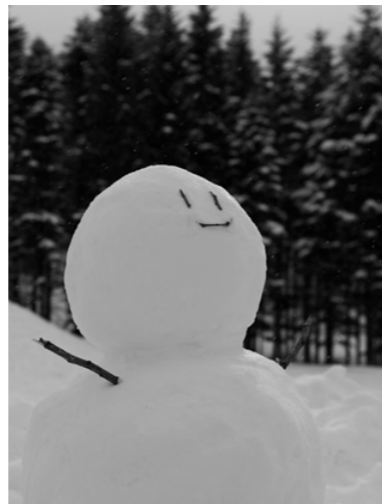
冬が近づいてきました。冷たい季節風が吹き始めるこの時期は、寒くて屋外に出かけるのが億劫になってきます。ふおれすと鉱山主催の『葉っぱの窓から覗いてみよう～森のふゆじたく』という行事を撮らせていただいたのが、ちょうど一年前でした。

紅葉が終わり、森の小道には乾いた枯葉がたくさん落ちていて、歩くとかさかさ音がします。晩秋の音です。これが意外と気持ちが良いのです。葉の上に卵を産みつけた虫、じっと春を待つミノムシ、熟したヤマブドウ、ふわふわの綿毛をまとう冬芽。小さな木の実の皮をむくと種が一杯詰まっていました。スタッフから「飛んではじめてくっついて・・・命をつなぐ種たち」と説明がありました。植物や動物たちは静かに冬を越す準備をしていました。

クライマックスは、風で飛んだ落ち葉が集まって、まるでプールのようにになっているくぼ地に、子どもたちは歓声を上げながら寝転んだときです。そこへスタッフがたくさんの落ち葉をシャワーのように浴びせたからたまりません。子どもたちは「落ち葉って暖かいナー！」と叫びながら大喜びです。

こんなふうにいるところにさまざまな仕掛けがありました。事前にコースを入念に観察し、周到な準備をしたスタッフの方々の心意気が伝わってきました。

観察会が終わるころには冷たい北風が吹き始めていましたが、なぜかほのぼのとした気分で帰途につきました。きっと森からはぬくもりが、そしてスタッフの方々からは熱い心づかいが伝わってきたからなのだと思います。



山田清滋（やまだ きよしげ）

1952年室蘭市生まれ。登別市在住。仕事のかたわら、登別や室蘭など主に西胆振の四季折々の風景とそこに暮らす人々を撮影している。

作品はYAHOOサイトのブログ『北の素人写真家・Northern Amateur Photographer』で公開されている。

2009年1月、登別市ネイチャーセンターで写真展『あたたかな森』を開催。

what's 『葉っぱの窓から覗いてみよう～森のふゆじたく』は2008年度第5期コーザンネイチャーガイド養成講座の受講生のみなさんが1年間講座で学んできた演習として実施したプログラムです。そして、今年も第6期生のみなさんのプログラムが実施されます！

『赤と黄色の大冒険～落ち葉とふれあおう～』

◎実施日：11月8日（日）10:00～12:30 ◎対象・人数：小学生とその保護者、10組ほど ◎参加費：おひとり100円

◎持ち物：汚れてもよい服装、防寒着、帽子、タオル、軍手、飲み物、昼食

◎内容：遊歩道を歩きながら、落ち葉や実など秋の落し物を探して遊ぼう！散策後には焚き火で焼いたおいもを味わおう！

ススキ

秋に目立つものは真っ赤に燃える紅葉と対照的に超地味なススキではないでしょうか。

ススキは米と同じイネ科の植物です。イネ科といえど大小様々、形態も様々、風媒花で、昆虫を呼び寄せるための美しい花弁は持たず、隠花植物の代表ですね。とにかく強い植物です。そして、順応性が高く、高山帯にも川縁にも、どんなに環境が厳しくてもしっかりと生きています。ススキは秋風の吹く頃「種」をいっぱいにつけた「穂」が目立ちます。

夏の終わりからたくさんの「花」を咲かせますが、とても小さくて花びらはありません。しかし、子孫繁栄のための機能はしっかりと備えています。

ススキは花穂が獣の尾に似ていることから尾花ともいわれます。派手な紅葉の裾にススキが群落している光景は最高のコンビネーションではないでしょうか？脇役に徹しているススキが素敵です。

2009年10月5日記
松原條一



■スタッフルームへようこそ
ふおれすと鉱山スタッフのお部屋です。ここは普段スタッフが考えていること、感じたことを好きなように表現する場。鉱山で会うのとはちょっと違ったスタッフたちの横顔をお楽しみ下さい。

MJ days

花 ある紀

スタッフコラム③

かさまん またね

「ああ、素晴らしき鉱山人生」

1年半の「かさまん」という人間の短い鉱山人生でしたが、私は皆さんに何を残すことができただろうか…なんて、たまに考えます。「かさまんってほんとへなちょこだったよなー、体力ないし」とか「かさまんって一所懸命なのはわかるけど、どうしてあんなに鈍くさいのかしら」なんて思われていたかも…あわわわ。悲しいけど当たっている気がします…(泣)

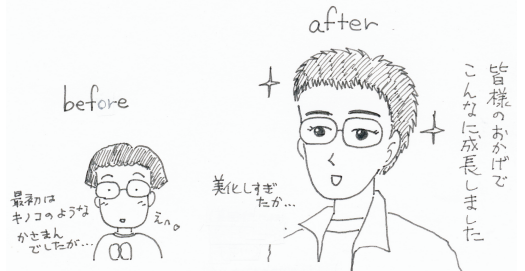
でもでも、私はこの鉱山に集まってくる皆さんと関わって、本当に幸せ者でした。来た当初は子どもに苦手意識があり接し方がわからず不安がっていたことも、そんなことあったっけ？と思えるくらい子どもに魅せられた自分があるし、子を持つお母さんお父さんの本音？や豊富な経験談には、ふわふわ私も親になったらこういう感じで子どもを育てよう、などと密かに勉強させてもらっていたし。

そしてボランティアスタッフというここで大活躍している皆さんとの関わりも、私にとってなくてはならない、かけがえのない思い出です。いま改めて、モモくらのボラスタは本当にすごい！と思います。ふだんの鉱山では当たり前前の光景でその素晴らしさを忘れちゃいそうになりますが。

大変なことや難しいなあと感じることもあると思いますが、「楽しいが一番！」と胸を張っていられることが続いていく秘訣なのかなと思ったりします。

そんな数々の素敵なことに出会わせてくれたふおれすと鉱山とモモンガくらぶに、私は心から感謝しています。本当にありがとうございました。

これから何処に住んで何をするのか未定な私ですが、遠くからでも鉱山とモモンガを応援していきます！そして大好きなこの場所と胆振地域の大好きな人たちに会いに、また遊びに来たいなと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



かさまん こと 笠間梨英

かさまん、ありがとう！
ますますの成長を楽しみにしています！！

モモくらチーム紹介第2弾! 今年できた『ふんわり工房・虹』チーム。
リーダーの孝子さんにお話をお伺いし、『ふんわり工房・虹』の魅力に迫りました。

ふんわり工房 虹のチームとは?

もともと興味心旺盛なメンバーで、鉾山で開かれる色々なイベントやプログラム参加で顔を合わせているうちに、鉾山にある豊かな自然を使って何か作りたいという思いがひとつになって来ました。

そこで衣食住をこの地で、この手でと、羊毛を使い染め、糸を紡ぎ、布を織る・・・と、どんどん夢が大きく膨らんで来ました。

鉾山のスタッフの助けもあり、今では、羊毛の素材(ふわふわ感)に惹かれ、草木で染めた微妙な色合いや羊毛から繰り出される様々な小物たちの魅力に夢中になっています。

魅力はズバリ?

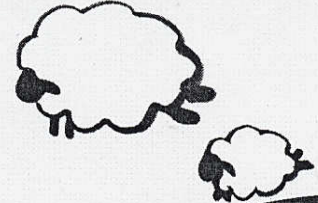
発見がたくさんある! 染め方ひとつにしても、こうしたい、ああしたいといういろいろ夢が広がる場所。

チームメンバーは、全員興味心旺盛。一度話し始めたらとまらない! どんどん夢が広がり、話が広がります、ジャンルはありません、たべものの話、ファッションの話、老後の話・・・などなど時間がいくら有っても足りません、そんな愉快な仲間です。

これからの活動は...

上半期は、羊毛の紡ぎ方、草木染めの基本、フェルトクラフトなどを学び、10月から参加者を集めてプログラムを展開しています。プログラムは10月から来年の2月まで1か月に1回講習会を行い、できた作品を冬休みスペシャルウィークにみなさんにお披露目したいと思っています。

これからもメンバーそれぞれの個性を生かし、作品作りを通して、この楽しみをたくさんの方々に広めていきたいと思っています。



ふおれすと鉾山
ボランティアのコラム
⑧

ふおれぼらこら
◀チーム編

受付嬢の絵ごころ
カウンターの
うらがわ
6

鉾山7不思議



Illustrated by けんこ (児玉 顕子: 受付スタッフ)

- 10月**
- 〔7日、21日、28日〕 森ちょこっひろば
 - 〔4日〕 秋のハイキング
 - 〔10日～11日〕 KoNG養成講座⑨⑩※
 - 〔12日〕 秋の登山会
 - 〔14日〕 石窯料理体験～パン＆ポトフ
 - 〔15日〕 ふんわり羊毛クラフト①
 - 〔16日〕 実践登山教室⑤
- 〔17日〕 森からつながる環境保全Ⅱ
 - 〔18日〕 子育て合同イベント～コーザン山なべまつり
 - 〔22日〕 ガイドウォーク⑨
 - 〔25日〕 ひげ工房木の学校⑥
 - 〔29日〕 たまにはアウトドアライフ
 - 〔31日〕 チカタビレンジャー

- 11月**
- 〔1日〕 父と子の日
 - 〔4日、11日、18日、25日〕 森ちょこっひろば
 - 〔5日〕 森のコソダテ茶話会
 - 〔8日〕 赤と黄色の大冒険～落ち葉とふれあおう
 - 〔13日〕 実践登山教室⑥
 - 〔14日〕 もりもり森の子くらぶ
 - 〔14～15日、22～23日〕 森のようちえん
- 〔19日〕 ガイドウォーク⑩、ふんわり羊毛クラフト②
 - 〔21日〕 ながぐつレンジャー
 - 〔22日〕 鉱山・大・同窓会
 - 〔23日〕 森からつながる環境保全Ⅱ
 - 〔26日〕 たまにはアウトドアライフ
 - 〔28日〕 チカタビレンジャー
 - 〔29日〕 コーザン井戸端ドタバタ会議

- 12月**
- 〔上旬〕 森の子育てフォーラム
 - 〔10日〕 たまにはアウトドアライフ
 - 〔12日〕 もりもり森の子くらぶ
 - 〔13日、20日〕 森のようちえん
- 〔13日〕 ひげ工房木の学校
 - 〔15日〕 森のサロン
 - 〔17日〕 ガイドウォーク11、ふんわり羊毛クラフト③
 - 〔19日〕 ながぐつレンジャー、チカタビレンジャー

最新情報はこちら! → <http://npo-momonga.org/> ※KoNGとは、コーザン・ネイチャーガイドの略称です。

■ KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館 9:00～17:30 入館料 無料

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)、**年末年始**

※7月、8月は休館日なし

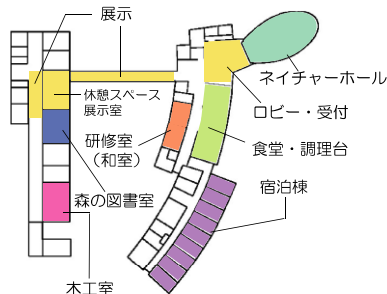
■ 宿泊料 チェックイン 14:00～
チェックアウト ～11:00

| | | |
|----------|----|--------|
| 大人 | 1人 | 1,800円 |
| 高校生 | 1人 | 1,200円 |
| 小・中学生 | 1人 | 500円 |
| 幼児(4歳以上) | 1人 | 200円 |

※3歳以下は無料

テント1張 1泊 500円

暖房費 1人1泊 100円 (暖房使用時にいただきます)



鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

大変お待たせしました、今期3回目の鉱山録です。夏はどこ?とと思っているうちに季節は紅葉溢れる秋へ突入しました。肌寒く家にこもりがちな季節だからこそ、鉱山で散歩! なんていかがでしょうか? その他クラフト・秋の味覚も併せて楽しんで頂ければと思います。(や)

登別市ネイチャーセンターニュースレター「鉱山録」 Vol.28

発行: 2009年10月

発行所: 〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号: 0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail: kouzan@npo-momonga.org

URL: <http://npo-momonga.org/>